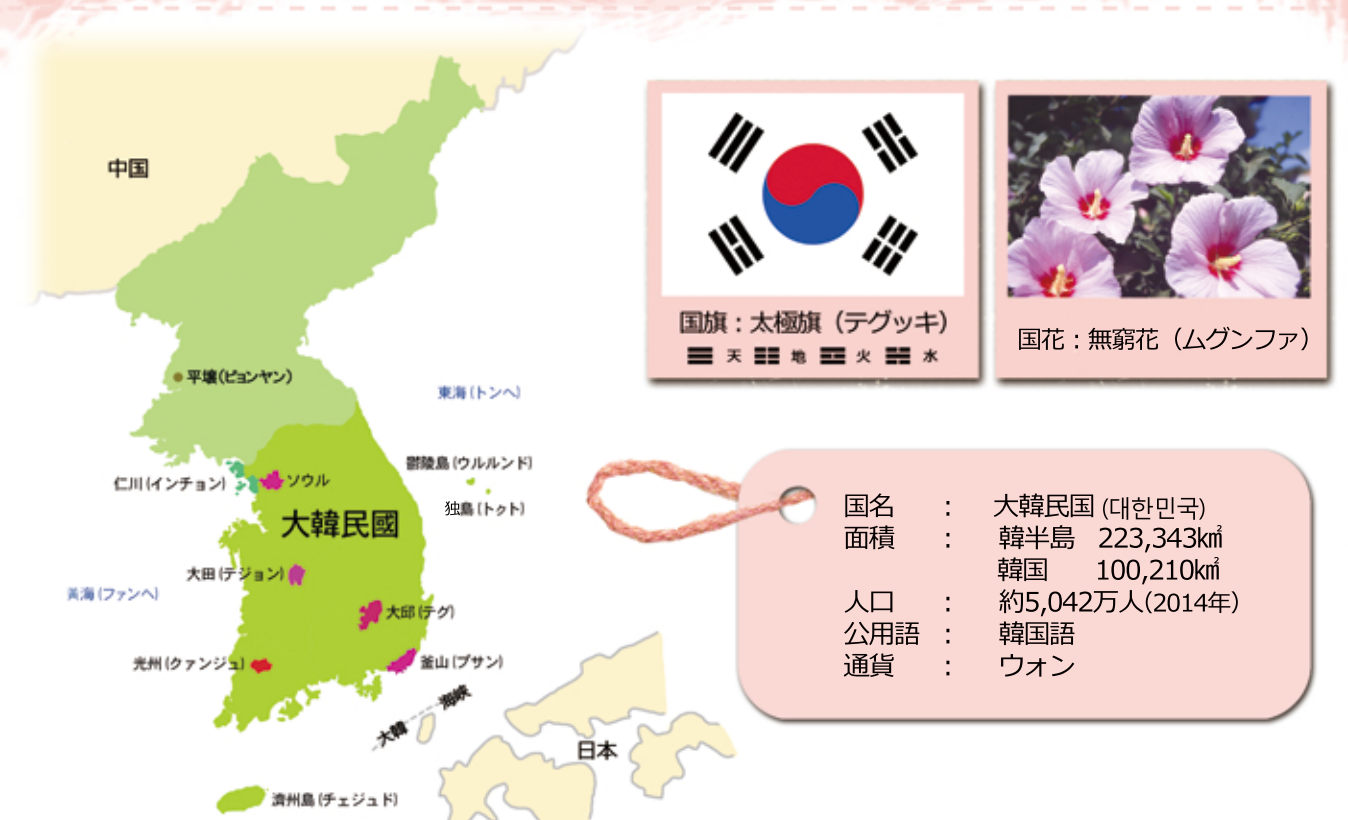


韓国へようこそ

韓国の概要



사람과 언어

▶ 韓国の人々



韓国人は長い間、韓半島に住んできた民族です。韓国人の国民性については、多くの人によってさまざまに述べられてきましたが、それらをまとめると、おおよそ次のようにいえるでしょう。長い間、儒教精神が根付いてきた韓国では、特に老人や両親、目上の人に対するの礼儀を重んじ、家族を大事にしています。また、とても勤勉であるともされます。また、ナ(나 / 私 / I)よりウリ(우리 / 我々 / We)を大切にすること、共同体意識の情緒のもとに互いに助け合う風習が根深く残っており、個人的な西洋文化が流入された今でもこのような情緒は大きく変わっていません。

▶ 韓国語とハングル



韓国語は日本語などと同じアルタイ語族に属しています。そのため韓国語の文法は、日本語の文法と非常によく似ているといわれています。韓国語を書き表す文字であるハングルは、10の母音と14の子音から構成されています。ハングルが作られる以前は漢字で文章が書かれていました。韓国固有の言葉を書き表すのに外国の文字である漢字では無理があったため、また漢字は難しく庶民までなかなか普及しなかったこともあり、自国民にとって使いやすい文字を作ろうという趣旨のもと朝鮮王朝時代の国王、世宗(セジョン)の命により、1443年にハングルが作られました。これにより韓国語の発音をそのまま文字に置き換えることができるようになり、読み書きが簡単に行えるようになりました。ハングルは、作られた目的や記録、制作時期がはっきりしている世界で唯一の文字で、ユネスコの世界記録遺産として登録されています。現在ハングルは、南北の7,000万人だけではなく、海外の700万人の人々に使われています。

▶ 世界文化遺産



長い歴史を持つ韓国では、多様な文化が発展してきました。

それらは韓国の自然環境や韓国人の美意識が生み出した独創性に富む韓国固有の文化です。

韓国には多くの文化遺産がありますが、ここではユネスコで指定する韓国の世界遺産を紹介します。

○世界文化遺産(建築物など)：宗廟、昌徳宮、仏国寺と石窟庵、海印寺藏経板殿、水原華城、支石墓、慶州歴史遺跡地区

濟州島の火山島と溶岩洞窟群、石窟庵、朝鮮王陵、韓国の歴史村(河回と良洞)、南韓山城

○世界無形遺産：宗廟祭礼及び宗廟祭礼楽、パンソリ、江陵端午祭、カンガンスルレ、男寺党ノリ、靈山齋、濟州チルモリ堂燃登グッ

処容舞、歌曲、大木匠、鷹狩り、綱渡り、テッキョン、韓山カラムシ織、アリラン、キムジャン文化

○世界記録遺産(書籍、記録物など)：訓民正音、朝鮮王朝実録、直指心体要節、承政院日記、儀軌、東医宝鑑、八万大蔵経板

日省録、5・18光州民主化運動関連の記録物、乱中日記、セマウル運動記録

▶ 韓国の芸術



韓国人は古くから踊りや音楽などの芸術を愛し、その才能が広く認められている民族で、数千年の長い歴史を通じて形成された独特の音楽、舞踊、美術などの芸術活動を通して創造力を表してきました。

近代に入って西洋の芸術も韓国の芸術界に多く導入されましたが、韓国固有の芸術は現在もなお伝統を保ち、近代との調和を通じて新しい芸術ジャンルを作り出しています。

▶ スポーツ



伝統的な韓国のスポーツとして、テクォンドやシルムがあげられます。オリンピックの正式種目でもあるテクォンドは、昔から護身術としてだけでなく、精神鍛錬のためにも行われてきており、シルムは国技として認識されています。

オリンピックなどの世界大会では、テクォンドやアーチェリー、射撃、サッカーなどの種目で活躍する韓国選手が目立ちます。

韓国大使館 歴史と機能

韓国大使館の前身である駐日代表部は、1949年、東京・銀座に設置されました。

1965年、韓国と日本が国交を結び、それによって駐日代表部は大使館に昇格、日本における韓国政府の代表機関として、様々な業務を行っています。

韓日間における政治、経済活動などの円滑な進行や調整、日本にいる韓国人の法的手続きの支援、日本人が韓国に長期滞在する場合に必要なビザの発行など、業務は多岐に及びます。

また、大使館の中で文化関連事業を行う韓国文化院は、1979年開院し、日本における韓国の文化、スポーツ、観光の総合窓口として、韓国文化の情報発信や文化紹介、韓国と日本を結ぶ交流事業を促進する活動を行っています。